

会 議 録

会議名	令和6年度 第2回佐久市環境審議会
事務局	環境部 環境政策課 環境政策係
開催日時	令和7年1月27日(月) 13時30分～15時
開催場所	佐久市役所8階大会議室
出席者	<p>【委員】 平林 公男委員、小宮山 尚明委員、麻生 知子委員、 辻 明子委員、大工原 公吉委員、青柳 京子委員、 廣澤 三和子委員、榑澤 静枝委員、坂川 和志委員、 小島 和夫委員、井出 時子委員、木内 朋華委員、 駒村 英二委員、在家 明子委員、松野 健委員、 長谷川 香織委員</p> <p style="text-align: right;">(16名/20名出席)</p> <p>【事務局】 木内環境部長、井上環境政策課長、木内生活環境課長 環境政策課 環境政策係 百瀬係長、伊藤主任 生活環境課 環境衛生係 井出係長、小山主任</p>
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 審議事項 第二次佐久市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画答申案について 3 その他 4 閉会

	<p>1 開会</p> <p>2 審議事項</p>
事務局	《資料3「事前提出された意見等とそれに対する事務局回答（審議事項）」について説明》
平林会長	委員の皆様から出していただいた意見に対する回答を踏まえて、一般廃棄物（ごみ）処理基本計画へ反映していくということですが、具体的にどここの部分をどういう表現にするかという市からの提案がないが、最終的に修正した計画を委員の皆様を確認いただくのか、それとも今の説明で委員の皆様にご理解いただくという風にするのか、どちらでしょうか。
事務局	スケジュールの関係から作成した案を再度お送りするのは難しいため、内容についてはこちらへ一任いただきたいと思います。
平林会長	冊子やホームページに掲載する前に、委員に確認してもらおうステップが入るのかをはっきりしていただきたい。
事務局	修正前とその後が分かるようなものを送付することで対応していきたいと考えております。
委員	基本計画で定めた目標に向かって進めていく具体策をいつまでにどのようなものを示すのか。中間で評価を行う際に、何処の項目をどの段階まで進み、評価時点でどのような状態ということで評価するようになると思うので、何か具体的な指標となるものがあつた方がよい。
事務局	<p>20年間という計画期間内で、5年に一度取り巻く社会情勢等をふまえて見直しを行うスケジュールとなっています。市内部では、実施計画時にどこまで達成できるのかを検討するタイミングがあります。</p> <p>また、現在行っている出前講座やホームページ等で引き続き普及啓発活動は行っています。</p> <p>具体的な施策の進捗は他の部署との関連もあるので、市へ一任していただき、5年に一度の見直しを行う際に計画の進捗等を見て、評価いただきたいと思います。</p>

委員	<p>計画案の中で検討を進めるという表現がたくさんあるので、達成したというのがどういう状況なのかということを知りたい。</p>
事務局	<p>現段階ではいつまでということをお示しすることが難しいということをご理解をいただきたいと思います。5年ごとに見直しを行っていくという内容になっていますので、毎年の進捗状況を確認しながら、市では実施計画に基づいて中長期的な計画を策定しているので、次の改定時に進捗状況に対して、いただいた意見を踏まえて検討していきたいと考えております。</p>
平林会長	<p>委員からご意見をいただいて検討を進めていく必要があるという表現から検討を進めますという風に変えると回答をいただいているので、検討した結果がどうなったのか、どんなことを検討したのかということの次にはきちんと報告する義務が出てくると思うので、それに対する対応が必要だと思います。</p>
委員	<p>プラスチックの分別方法が変わって、迷ったら可燃ごみという流れが出ていますが、意識の高い人の中では今後製品プラスチックがどうなっていくのかを気にしています。燃えるごみの意識が浸透したところに、突然製品プラスチックはリサイクルしてくださいとなった時には、バタバタと大変になると思うので、検討します等先延ばしにすることはせず、国の方針等を小出しに出していきながら市民の意識を醸成していくということが必要じゃないかと思います。</p> <p>臼田の堆肥センターについても、運営をやめる、存続するにしても、みんなが理解できるデータを示してもらえればと思います。</p>
事務局	<p>製品プラスチックの分別方法を変えて3年が経過するが、市としては変えていきたいという思いがある。</p> <p>堆肥センターについては、他の部署との関係もあるので、現時点で具体的なことは言えませんが、今後については生ごみ処理のあり方も含めて、どのような方向にもっていくのかを検討させていただき、特に臼田地区の皆様にご納得いただけるような方向付けが必要と考えています。</p>
平林会長	<p>SDGsに関連する項目を設けて目標設定をしていくということを理解していますが、その中で14番「海の豊かさを守ろう」に関連した目標がいくつか入っていますが、15番目の「陸の豊かさを守ろう」についても当然関連してくると思っています。</p> <p>関連する目標も含めて、該当するものは入れた方がよいと思います。</p>

	<p>再度検討をして計画へ入れられるようでしたら、入れていただいた方がよいのかなと思いました。</p>
事務局	<p>内容的なものについて、最終的に検討させていただき、場合によってはご相談させていただくというようなことで対応したいと思います。</p>
委員	<p>佐久市クリーンセンターの受け入れる量がもう結構ギリギリで、今でも結構頑張っているけど、もう一段階頑張らなければならないという危機感があります。市民や市役所の中でもそういう認識をもっている方はいると思いますが、みんなで共有できる仕組みがあるといいのかなと思えます。</p> <p>そこをどうしていくのかというのは環境教育の充実や普及啓発という言葉より何か踏み込んだ、市民全体が共有できるものがあるといいのかなと思いました。</p>
平林会長	<p>策定した計画の内容がどれだけ立派に作ってあっても、それをどのように進めていくのかが重要だと思います。</p>
事務局	<p>この計画が策定された場合には、ホームページでもいろいろなお知らせをしているので、排出状況等を分かりやすくお示しして、市民の皆様が目標達成に向けて、努力や行動する意識付けに繋がるような工夫をしていくことが必要と考えております。</p>
平林会長	<p>広報等の媒体を使って、この内容を理解していただきながら、20年後にこのような状況にしたい、ポリシーも含めてうまく宣伝していただけるといいのかなと思えます。行政主導ではありますが、実際に行うのは市民そして事業者になるので、うまく共有しながら進めていくことはとても重要かと思えます。</p>
委員	<p>クリーンセンターの排出量はキャパシティーの限界に近い状況というデータが示されています。</p> <p>佐久広域でごみ処理を行っているが、実際に自治体が使用している割合や排出抑制に向けた取り組み状況を教えてもらいたい。</p>
事務局	<p>全体で約3万2千tという処理できる枠がありまして、そのうち佐久市は約1万8千tが割り振られています。その他を北佐久郡の町と南佐久の一部も受け入れています。</p> <p>佐久市については、概ねその枠内で推移していますが、北佐久郡のある町では枠を超過した分を民間事業者に処理をしてもらったという経過が</p>

平林会長	<p>あります。</p> <p>佐久市については、概ね枠内で推移している状況でありますので、それを堅持していきたいと考えているところであります。</p> <p>ただいま委員の皆様方からいただいたご意見は、計画に反映できる部分はずいぶん反映していただくということでお願いしたいと思っております。</p> <p>先ほど事務局の方からお話しがありました通り、この部分をこんなふうに変えるということで委員の皆様方に見ていただくということですが、最終的には時間の関係もございまして、会長一任という形にさせていただきたいと思っておりますがよろしいでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p>
平林会長	<p>一任させていただきます。ありがとうございました。</p>
事務局	<p>《資料4「第二次佐久市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の策定について（答申）」について説明》</p>
平林会長	<p>事務局からご説明のあった文書案について、内容についてはよろしいでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p>
平林会長	<p>それではこの内容で進めさせていただきます。</p> <p>今後の取り扱いについて、事務局の方から説明をよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>答申は令和7年2月14日を予定しております。当日は委員の皆様を代表して、平林会長と麻生副会長に市役所にお越しいただき、市長に答申をいただく予定となっておりますが、市長の公務が重なっており、副市長へ答申をいただく予定となっております。</p> <p>なお、答申の文案につきましては会長一任とさせていただきたいと考えております。</p>
平林会長	<p>皆様方を代表し、2月14日の日に副会長と2人でお渡しするようになりたいと思っております。</p> <p>どうぞよろしく申し上げます。</p>

3 その他

委員

同計画の計画期間である20年を見据えたときに、クリーンセンターは佐久広域で処理をしている状況ですが、佐久市の人口は現状維持または若干増ですが、広域全体として人口が減るときに、ごみの発生量っていうのは増えるのでしょうか、それとも減るのでしょうか？

周辺の地域が減るのであれば、処理能力がまだ先延ばしできるのかもしれませんが、今から次の世代の時のことまで考えなきゃいけないようだとすると、この先を考えたときに、どういう見通しになるのでしょうか。上限いっぱいでもギリギリでいくのか、周辺市町村の人口が減るから処理量が減るのか。

しかし各自治体の財政状況も悪くなってくると負担金で足りるのかとか、将来的な処理量のキャパと財政状況、人口などから、どんなふうなお考えを持ってるか教えていただきたいです。

事務局

佐久市の人口については減ってはいますが、世帯数は増えています。

世帯数が増えてくると、ごみの量はそんなに減っていかないということがありまして、ごみの量の推移は読めていないのが現実でございます。

佐久市についても前の計画書の中では、もう少しごみが減少すると予想はしてたんですが、推計どおりに減らなかったのが現実でございます。

佐久広域でも今後のごみの処理量について考えておりまして、基本的には減らしていきましようという方向性で声掛けはしますが、十分に減っていかないという現実がある中で、20年後も広域の中でも佐久市と同じような状況が続いている現実が想定されます。

その中でどうやってクリーンセンターを利用していくのか、あるいはそれぞれの市町村単独で何らかの形をとっていくのかというのは今後考えていかざるを得ない状況でございます。

平林会長

なかなか広域でも、人口の減る自治体もあれば佐久市は横ばいもしくは少し増えていく可能性もあるというところもあるので、他のところと一律同じようなパターンでというところも非常に難しいところかなと思います。ただきめ細かく、ある程度その期間を切りながら計画を立てて、難しいところはありますけど、今のようなご意見は皆さんもお持ちになることは当然だと思いますので、折を見ていろんな情報を審議会の中に出していただいて、ご理解を深めていただくような機会を多くしていただくことが大事かなというふうに思っています。

委員

佐久市としては、この基本計画を策定しました。

事務局	<p>これを広域にはどのように共有をするのでしょうか？</p> <p>各市町村でごみ処理基本計画を策定しています。</p> <p>各々の自治体が計画を立てるときには、それぞれが近隣の自治体の計画を参考として、次の改定や新たな計画の策定をしています。</p> <p>佐久市の計画についても、策定後は直ちに佐久広域の市町村にお送りをして、情報の共有を直ちに図るということでご理解をいただきたいと思えます。</p>
委員	<p>製品プラスチックの資源化の中で、当該施設を軸に、製品プラスチックを含めた資源化の処理体制が構築可能と判断された場合、市民の皆様にご理解いただきながら実現に向けた取り組みを進めると書かれていますが、資源化の処理体制が構築可能と判断された場合というのはどういうことでしょうか？</p>
事務局	<p>令和4年度まではうな沢第2最終処分場で容器包装プラスチックの圧縮をしていて、令和5年度からある民間企業のところでプラントを作っていて、そこで圧縮梱包をしています。</p> <p>その民間企業のプラントでは、一応名目的には製品プラスチックも可能と言われてます。容器包装プラスチックと製品プラスチックを一緒に集めてきたものを処理することができると言われてますが、まだ詳細については確認できてないですし、処理したものを持っていく先が必要なので、日本容器包装プラスチック協会の定めるところへ持って行って、こういった形のもので、このぐらいの量で佐久市のものを搬入しますが、これを処理していただけますかとかそういう確認がそれぞれのステップで必要になってきます。</p> <p>そういったことを一つずつ確認しながらこの事業を進めていきたいと思っています。</p>
事務局	<p>次回の審議会は現時点では審議事項がありませんので、開催の予定はございませんが、審議会にかける事項がございましたら、また開催のご案内をさせていただきますのでよろしくお願いたします。</p> <p>4 閉会</p> <p style="text-align: right;">(終わり)</p>